

2016年2月4日 第2224回例会
2月第1例会

RIテーマ Be a gift to the world

「世界へのプレゼントになろう」

本年度会長テーマ

「ロータリーを通して、互いに親しみ触れ合おう」

「平和と紛争予防/紛争解決月間」

◆ 会長時間 ◆

金本会長



本日は、今年の4月10日から15日にかけて米国イリノイ州シカゴで開催予定の規定審議会についてお話をしたいと思います。

(1) 國際ロータリー一定款第10条（規定審議会）において「規定審議会がR I の立法機関を成す」旨定められており、さらに同条で「規定審議会は3年に一度、4月、5月、6月のいずれかの月、できれば4月に、原則として国際ロータリー世界本部の近隣地域において開催されるものとする」と定められています。

その他詳細については、国際ロータリー細則において以下のように規定されています。

(2) 審議される立法案は、制定案と決議案の2種類から成っています。制定案は、国際ロータリーの組織規定を改正しようとする提案であり、決議案は、組織規定の改正を目的とするものではなく、R I 理事会に対して意見表明したり要望を行う提案とされています。ここで組織規定とは、国際ロータリー一定款、国際ロータリー細則、標準ロータリークラブ定款の3つの規定をいいます。

(3) 立法案は、クラブ、地区大会、R I 理事会などが提案できることとなっていますが、クラブの立法案は必ず地区大会において地区内クラブの承認を受けなければならず、また、いかなる

地区も1回の審議会につき5件より多くの立法案を提案もしくは承認すべきでないとされています。

(4) 規定審議会において投票権を有する議員は代表議員と称され、全世界各地区ごとに1名が選ばれ就任します。前回2013年に開催された審議会では、全世界532地区のうち528地区の代表議員が出席（日本は34の全地区から出席）して審議されました。今年の審議会には第2710地区から諫訪昭登パストガバナー（広島西R C）が就任され出席される予定です。

(5) なお、今回の審議会で審議予定の立法案は現時点で次のようになっています（諫訪P G作成資料より。単位：件）。

	RI理事会	日 本	世 界	合 計
制定案	1 6	1 7	8 3	1 1 6
決議案	2	9	3 9	5 0
合 計	(1 8)	(2 6)	(1 2 2)	(1 6 6)

新会員に会員証、ロータリーバッヂ、四つのテスト及びロータリアンの行動規範を贈呈



江川雅典君



久保 雅義君



田原 真一郎君

●会務報告 梶本幹事

当クラブが推薦しました2016-17年度地区補助金奨学生 三澤志織さんが「ミドルベリー国際大学院モントレー校」に合格されました。第2710地区においてアメリカでの受け入れクラブを選定後、最終面接を経て正式に奨学生に決定されます。

2015年1月から12月の期間、ロータリー財団及び米山奨学会に寄付をされた会員宛てに確定申告用領収書が届いております。税務署への申告の際は領収書と同封の特定公益増進法人の証明書(写)もセットでご提出ください。

次週例会は祝日のため休会となっておりますので、お間違えの無いようお願いいたします。

熊平製作所よりご恵贈の「抜萃のつづり」をBOXに入れておりるので、お持ち帰りください。

例会終了後、4階「アマリリス」において2月定例理事会を開催いたしますので、理事会メンバーは出席願います。

●委員会報告

※ プログラム・出席委員会

出席報告 中岡委員

本日 (2月4日・木曜日)

会員数 86名 出席者 71名

欠席者 15名 ご来客 2名

ご来賓 0名 ゲスト 1名

計 74名

前々回 (1月21日・木曜日)

出席率 100%



※ 国際奉仕委員会 土井委員長

次回 (2月18日) 例会卓話時間を30分延長して国際奉仕部門クラブフォーラムを開催します。

※ プログラム・出席委員会 小田委員長

本年4月15日(金)、16日(土)に、韓国の3690地区の地区大会への参加登録のお願いです。

2710地区で参加者を取りまとめて、3690地区に登録する予定ですので、3月3日(木)までに2710地区の事務局に連絡する必要があります。

東ガバナーからロータリークラブ会員各位ということで、登録要請がされていますが、現時点で、当広島西ロータリーにおいては、登録申込者がおられません。諒訪パストガバナーは、シカゴで開催される規程審議会に参加される予定とのことです。

つきましては、国際大会とは別に、韓国を訪問したいと思われる会員の方は、3月3日(木)例会終了時までに、事務局に参加の連絡をお願いします。なお、ツアー申込みは、各人でサンデン旅行株式会社宇部支店の担当:下川様(電話0863-31-3211、FAX0836-22-0966)にご連絡いただきますようお願いします。

※ 職業奉仕委員会 松岡(輝)委員長

クラブフォーラムのまとめ

- ・「職業奉仕=社会貢献」
- ・現在の職業を真摯に行なうことが社会貢献につながると考える。取引においても役に立つ。
- ・情報交換、人との交流(異業種交流など)が職業奉仕のひとつと思う。
- ・(職業を通して)地域の方々に喜ばれ、納税していくことが社会奉仕になる
- ・従業員を守る、企業利益を出して取引先との健全なサイクルを回す。年月を重ねること。

- ・社会貢献の仕方(取り組み方)は各社違うが、障害者支援を行っている。
- ・われわれの存在が日本の産業・製造業の維持(発展)となるよう頑張っている。
- ・時代の流れにあわせて、奉仕活動に取り組む、人と向き合う。(経済も大切)
- ・奉仕とは「サービス」だが、スキルを高めることが大切。
- ・(R Cが)金集めの会と言われつつあるが、企業活動(生産・サービス等)の根本は会社をつぶさないこと。存続し、利益を上げ続ける。
- ・「好き嫌い」でなく「当たり前」のこと。倫理観
- ・企業が生き残っていくために。倫理観とともに生き残る。自分のために、他人を大切にしていかないと。(おのずと自分に返る)
- ・職業奉仕+社会奉仕=人間性を高める。個々の問題(取組)である。
- ・人間愛の奉仕に務めること。
- ・会員資格の第一条件の様に思っている。
- ・地域に役立っていく
- ・「職業=利益、利潤」「奉仕=(ボランティア(減私・自損)でなく)=役に立つ」と分かりやすく解釈する。
- ・「(奉仕活動は)何でも良い」というわけではなく、まず会社業績をしっかりとさせる。
- ・社会に対して「正直である」こと。
- ・ロータリーの利点は「委員会(活動)を通じて学びを得る」「輪をつくること」
- ・近年の企業倫理感の乱れに危機感を覚える。高潔性をもって。
- ・(個々の活動も良いが)クラブ主体で(職業分類に表されるように)補完し合いながら取り組んでいくものと考える。
- ・ロータリアンにとって最も大切なものの。ロータリアンは順守。
- ・「正しい利潤」とはどのくらいか?それは「四つのテスト」「行動規範」に照らせば良い。

● 会員記念日

 2月お誕生日おめでとうございます。

(8名)

中村君	刀禰君	森信君	片山(恵)君
上田君	教蓮君	松田君	山縣君



■新会員紹介

○江川 雅典 会員

推 薦 者 松岡幹太郎 会員

推薦同意者 安部 憲明 会員

生年月日 昭和36年8月1日

勤 務 先 有限会社 エーケンテック

役 職 名 代表取締役

学 歴 愛媛大学 工学部 機械工学科

この度、伝統ある広島西ロータリークラブに入会させて頂くことになりました江川雅典と申します。入会に際しまして、松岡幹太郎様、安部憲明様からのご推薦、さらに会員の皆様方のご承認を頂きましたこと、厚く心よりお礼申し上げます。

家族は、毎日を支えてくれる有り難い妻と、長男、長女、次男、さらに家族に話題と笑顔をもたらす2匹の柴犬です。

私は、広島の横川新町生まれの広島育ち、就職は宮城県の仙台に行く予定でした。しかし、父の病気の関係で父が経営する江川刃物工業(有)に就職、以後広島で頑張っております。

江川刃物工業(有)は、工業用刃物の研磨および販売を行っている会社で、私は2代目として同社の代表取締役も務めております。

江川刃物工業(有)の代表取締役になったものの、経営者・代表者の本来の仕事とは何だと疑問が出てきました。様々な方から教えを請いながら、行き着いた先が中小企業診断士の資格で、今でもその命題に取り組んでいる最中です。



この資格勉強を通じて、経営とは何かを一緒にあって考え、支えていく事業の素晴らしさに感動し、有限会社エーケンテックという経営コンサルタント事業を興しました。広島西ロータリークラブで、諸先輩方々より新たな知見や様々なご意見を伺いながら、益々精進していく所存です。これから、何卒よろしくお願ひいたします。

>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>

○久保 雅義 会員

推薦者 梶本 政明 会員

推薦同意者 原 敬 会員

生年月日 昭和47年12月27日

勤務先 株式会社 サンフレッヂエ広島

役職名 事業本部 営業部主任

学歴 聖学院大学

このたび、伝統ある広島西ロータリークラブに新規入会させていただいた事、誠に光栄に存じます。推薦者の梶本様、推薦同意者の原様にお説いていただきまして入会の運びとなりました。感謝申し上げます。

わたくしは2012年2月に東京より戻ってまいりました。経緯は私の父親より広島に戻って来いと何の前触れもなく突然言われたものですから、わたくしなりに心の整理が必要でありました。1週間ほど返答を待っていただき、広島に戻ることを決心し株式会社サンフレッヂエ広島に2012年3月に入社することとなりました。

元々営業をしていた関係もありサンフレッヂエ広島でも営業をさせていただくこととなりました。今までとは全く違う業種でありましたので入社した当初は期待と不安と久々に感じる気持ちの高ぶりがございました。

営業といいましても今まで物を売っておりましたが、今回はサンフレッヂエ広島に対しての活動を理解していただき協賛をいただく形（広告等）になりますので非常に難しい営業でもありました。

ただ、わたくしが入社した年に初優勝をし、また皆様もご存知のとおり、4年で3度の優勝という輝かしい成績を残したおかげで非常に注目をあびるチームへと成長しました。

おかげ様でブランド力も付き、少なからずとも営業にも良い影響となりチームの働きには敬服するばかりでございます。

来シーズンも「WE FIGHT TOGETHER 挑戦」をスローガンに掲げ、就任5年目となる森保一（もりやす はじめ）監督の下、チーム・スタッフ・フロントが一丸となり全力で戦います。

今後とも「サッカー事業を通じて夢と感動を共有し地域に貢献する」という弊社理念の基、一層皆様方から愛される魅力あるクラブ作りに向け、全社一丸となって努力して参りますのでよろしくお願い申し上げます。

「ロータリーの目的は意義のある事業の基礎として奉仕の理念を推奨し、これを育むことにある」とあります。その言葉を胸にいだき広島西ロータリーでの活動、そしてわたくしの仕事に対しても活かしていきたいと思っております。

入会初年度となりますので、慣れない部分もあり諸先輩方にご迷惑をお掛けいたしますことがあると思いますが、諸先輩方にはこれからもご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>

○田原 真一郎 会員

推薦者 梶本 政明 会員

推薦同意者 上田 欣一 会員

生年月日 昭和49年9月8日

勤務先 株タハラ

役職名 代表取締役

学歴 広島修道大学 商学部 商学科

このたび、伝統ある広島西ロータリークラブに

入会させて頂くことになりました田原真一郎でございます。入会に際しましては、梶本政明様のご推薦、並びに上田欣一様のご推薦同意と会員の皆様のご承認を頂きましたこと、厚く御礼申し上げます。

私は昭和49年に大阪で生まれ、その後幼少期に父の故郷である広島に戻り生活をしております。地元の高校、大学を経て広島信用金庫へ入社し、短い期間ではありましたがご奉公させていただき、平成12年に現在の株タカラへ入社しました。平成16年に常務取締役、平成24年に代表取締役に就任し、現在に至っております。

弊社は昭和60年に父である田原憲次により、広島市中区にて木材卸業として有限会社田原商会を立ち上げ、平成6年には株式会社タカラへ社名変更いたしました。昨年、創業30周年を迎改めてここまで支え、協力していただいた皆様に感謝申し上げる次第です。創業時は住宅向けや家具資材、また公共・大型物件向けに様々な木材を販売しておりましたが、市場の変遷とともに一般住宅向けに集成材(無垢材の寄せ木)を加工した階段、カウンター、手摺を製造、販売するメーカーとしての道を歩んできました。近年はその中でも「階段」に特化し、昨年は「情熱企業」「そーだったカンパニー」(T S S)と立て続けに紹介していただきその成果も少しずつ認めていただけるようになりました。

家族は妻と中学生の娘と小学生の娘がおります。妻の劇団四季好きが昂じて二人の娘はバレエスクールで将来キャツツの舞台に立つことを夢みて日々汗を流しております。また冬季は家族共通の趣味としてスキーに明け暮れ、日々筋肉痛と格闘しております。

ロータリー活動は自分として何が出来るのかま



だ分かりませんが、積極的に活動へ参加し、様々な業種の方と交流をはかり親睦を深め、自己研鑽し、人生の幅を広げたいと思います。若輩者につき、どうぞ皆様のご指導ご鞭撻を宜しくお願ひ致します。

●スマイルボックス S A A 吉田副委員長

㉔新会員

江川君、推薦者は松岡幹太郎君、推薦同意者は安部君。

久保君、推薦者は梶本君、推薦同意者は原君。

田原君、推薦者は梶本君、推薦同意者は上田君。

ご本人、推薦者、推薦同意者のみなさん、よろしくお願ひします。

㉔広島経済同友会創立60周年記念式典で森信筆頭代表幹事が、現在、県内6支部822人の会員数で、東京、中部に次ぎ、全国3番目の規模になっていること。それには全国に類を見ない、支部組織が活動を活発化していると歴代の運営に感謝の意を表明し、「これから10年20年先を考えて“ふるさと創生”を目指す」と挨拶されました。

㉔中岡君（経済レポート1月26日、リレー放談）

中岡君のご子息英也氏が経済レポートのリレー放談に載っておりました。

今年の3月で創業70周年を迎えます。

トヨタ系コンピュータ会社のシステムエンジニアとして10年勤め、3年前に帰郷し入社しました。子供の頃から両親の仕事を見ていましたから「いずれは…」の気持ちはありました、異業種からの転身で最初は慣れませんでした。今は、これまでの経験も活かして仕事の幅を広げたいと考えています。

皆様の“かかりつけの宝石店”を目指しますとのことです。

㉔教蓮君

加茂川が節分に向け恵方巻きを販売

同社の恵方巻きは、厳選した特上の海苔を使い、穴子や卵などの具がたっぷり入っている高級料亭の極太巻き寿司。価格は1本880円（税込）だそうです。

● すまんボックス

● 柴田君

先週、例会前に携帯電話をちゃんとマナーモードにしましたが、ポケットのペンにボタンが当たってマナー解除。松岡輝明委員長の職業奉仕の説明の最中に鳴りました。すみません。

■ 新会員卓話



佐久間 昭男 君

本日は、建設会社としての本業の話ではなく、私どもが今取り組んでおります浮体式洋上風力発電実証事業のお話をさせて頂きます。簡単に申し上げれば、風車を海の上に浮かべて発電する試みでございます。

では、なぜ洋上風力発電なのかですが、日本の国土は世界で61番目の広さであります。アメリカの4%にも満たない面積しかないので、排他的経済水域では、世界で6番目に広い海洋大国であります。ちなみに1位はアメリカで日本の2.5倍ですが、現在、日本における再生可能エネルギーは主流が太陽光発電と陸上風力発電であります。障害物が無い海上は安定した強い風が常時吹いており、風力発電には最適であるにもかかわらず、全く利用されていません。それで、環境省に於いて再生可能エネルギーの将来の導入ポテンシャルがどのくらいあるかという調査を行っています。太陽光では年間の最大発電量は1110億kWhが限界であり、陸上風力でも太陽光の約4倍が限界であるのに対して、洋上風力では発電量が太陽光の17倍の年間最大1兆8900億kWhまでのポテンシャルがあると予測されています。

その洋上風力発電も2種類ございまして、海底に風車の支柱を固定する着床式洋上風力発電というものと、支柱を海底に固定せず浮かせる浮体式洋上風力発電というものがあります。日本のように水深が、すぐに深くなるような地形では、海に浮かべる浮体式が特に有望であり、実際浮体式は洋上風力の発電量全体の最大85%までのポテンシャルがあると見込まれています。このような日本の自然条件や海底地形から環境省として、浮体式

洋上風力の事業化への取組み強化を目指しており、2050年には1650万kW、原発17基相当分まで伸びしていく考えを示しております。

戸田建設では2007年から浮体式洋上風力発電への取り組みを始めております。当初は京都大学との共同研究で進めていましたが、2010年に環境省事業として実証実験を受託し、2000kWの実証実験を行なっております。実験場所ですが、長崎県五島市にある梶島という小さな島の沖合約1kmの所であります。実験機の名称は「はえんかぜ」といい、地元の方言で南風という意味であります。

浮体式洋上風力発電の実証事例は、今まで世界で2例しかありませんが、今回の実証実験は日本初で、2013年10月に始めました。海外で行われた実証機は3本の鉄製支柱からなる台を海上に浮かべて、その上に風車のついたタワーを立てたセミサブ型といわれるタイプですが、戸田建設グループの実証機は、日本生まれの技術でハイブリッドスパー型といいます。海中の下部支柱はコンクリート製で、海上の支柱が鉄製で出来ており、支柱が1本のみのタイプで、世界初の技術です。全長は172mあり、海中に入っている部分は76mで直径7.8mのコンクリート製で、海上部分のタワーは直径が最大4.8mの鉄製です。羽根の部分は直径80mで、風車全体の総重量は3400トンありますが、更に約1400トンのバラストを海中部分の支柱に入れてバランスを取っております。

発電能力は2000kWで、およそ1800世帯分の発電量に相当しますが、発電した電気は海底ケーブルで梶島に送電されて、梶島と隣の奈留島で600kW程が使われております。残りの電気は、梶島で水を水素と酸素に電気分解して、その水素で水素燃料電池車と当社が開発した燃料電池船のエネルギーとして使用しています。ちなみに大型船での水素燃料電池船はあるのですが、小型船舶としては世界で初めての燃料電池船となります。

戸田建設としましては、今回の実証実験で海洋への影響調査も行い影響が小さいことが確認できましたので、今後本格的に浮体式洋上風力発電事業を行う計画であります。



山縣 浩一君

株式会社ニシヒロの山縣でございます。職業分類は「スポーツ用品販売」ですので、弊社の決算状況を例にとりながら業界の話を冒頭にさせていただきたいと思います。

ただ、私が申し上げるまでもなく、这样的ことはよくご存知だと思いますし、あまり興味を持って聞いていただけるとは考えられませんので、卓話の大部分は陸上男子100m競技についてオリンピックでの体験を絡めながら進めていこうと思います。

弊社を例にとりますと、小売業部門は総売り上げの4分の3=75%が「仕入れ」になります。確実に毎月現金が抜けるわけですが、残り4分の1で人件費を含む一般販売管理費他をまかなわなければなりません。ある意味売上の多い・少ないは見せかけであり、重要な手元に残る現金としての利益は、業界で通用する収支構造とお客様による購買形態によって非常に苦労させられるところです。ですから、営業利益・経常利益は当然微々たる割合にしかなり得ません。

あまり面白い話ではありませんので、続いて、ここからは100m競技の話に移ります。

私には2人の息子がいます。24歳と23歳になりますが、そのうちの一人、次男が20歳のときにロンドンオリンピックに出場させていただきました。家族で応援に行くことになったのですが、男子100m競技決勝が行われる当日チケット（一日の中でモーニングセッション・アフタヌーンセッションと総入れ替え制で、それぞれにチケットが必要です）について、です。位置から言うと「中の上」程度だったのですが、チケットの下には700ポンドと記載されていました。当時の交換レートは1ポンド130円。なんと10秒のレースを観戦するために支払った金額は一人91,000円、家族3人分と食事ほかで約30万円だったわけです。もちろんすべての日がこの金額で設定されているわけではありません。8万人収容のロンドンオリンピックスタジアムですが、人気・需要によって価格に差がついています。ちなみに、開閉会式と陸

上男子100m競技決勝日のチケットが「高額設定」となり、そのど真ん中だったわけです。

次は具体的なタイムの話です。

日本人が出したオリンピックでの100m最高タイムは10秒07ですが、これは息子が記録したものです。4年間は破られることはありませんが、オリンピックを含む世界大会での決勝進出タイム、日本記録（10秒00）更新を考えると、是が非でも9秒台の記録を樹立してほしいと願っています。そのためにはいくつか条件があります。世界記録保持者のウサイン・ボルト選手を例にとって考えてみると、9秒58の世界記録を出したときのトップスピードは70m付近にあったといわれています。人間はトップスピードで走り続けることは絶対にできません。トップスピードからゴールまでは必ず減速してしまいます。その減速の割合が大きい・小さいが追い抜いたように見える、抜かされたように見える、といった「視覚的な差」になって現れます。彼のそのときの秒速は12.35m、時速にして約44kmにもなり、この例会場の幅、約20mとすると、その間を1.6秒ほどで駆け抜けてしまうスピードです。確かに驚異的な記録なのですが、9秒台ランナーはすべてそのトップスピードが11.7mを上回っているという事実からも、息子のトップスピードを引き上げることは必須になってしまいます。ちなみに現在は11.6mあたりでしょうか。なんにせよ、10秒という短い時間の中で、練習で積み重ねてきたものを正確に「再現」することが大切であり、軌道修正のきかない究極の競技が100mなのです。

ロンドンから早くも4年に一度のオリンピックイヤーがやってまいりました。今回はリオデジャネイロです。6月に愛知の瑞穂陸上競技場で行われる日本選手権の結果によって代表選手が決まりますが、怪我をせずシーズンを迎える9秒台を出すことでその目標は達成できると思います。

皆様の応援は大いなる力になります。息子ともどもよろしくお願ひいたします。

● 卓話予告

日 時	テ　ー　マ
2/25(木)	インターナショナル — 今年のIMについて —



例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 金本 善行
幹事 梶本 政明

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail : hwrc@godorc.gr.jp
作成・会報雑誌・広報委員会

広島西RC